



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 昭和鉄工株式会社 上場取引所 福
 コード番号 5953 URL http://www.showa.co.jp/
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 福田俊仁
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 伊達正治 (TEL) 092-933-6231
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	9,502	△4.0	499	△11.5	513	△20.6	443	△18.8
29年3月期第3四半期	9,894	23.7	564	441.9	646	258.2	545	282.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,198百万円(21.2%) 29年3月期第3四半期 989百万円(618.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	544.22	—
29年3月期第3四半期	670.03	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,792	4,974	31.5
29年3月期	14,867	3,840	25.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,974百万円 29年3月期 3,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
30年3月期	—	0.00	0.00	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	80.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は8円となり、1株当たり年間配当金は8円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	12,100	△6.0	300	△48.8	340	△47.2	230	△55.1
								282.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	897,000株	29年3月期	897,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	82,629株	29年3月期	82,557株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	814,405株	29年3月期3Q	814,555株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成29年6月28日開催の第95回定時株主総会において、株式併合について承認認可され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想
 1株当たりの配当金 期末8円
2. 平成30年3月期の連結業績予想
 1株当たり当期純利益 通期28.24円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策等により雇用・所得環境の改善が続く中で、輸出や生産に加え民間設備投資が持ち直すなど緩やかな回復基調で推移しました。一方で、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等が日本経済に影響を及ぼしかねない状況が続いております。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する！」の3年目の年として、平成31年度までに連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率4%以上を実現するため、重点課題である「事業の選択と集中」、「差別化新製品の開発」及び「固定費の最小化」に取り組んでまいりました。また、中期経営計画達成のため、効果的な事業戦略を検討する「Project Skye」のもと、4つのタスクフォースを中心に改革を継続推進しております。

これらの取り組みを実施してまいりましたが、前期特需により大幅に増収となった反動減が影響し、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、95億2百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

損益面につきましても営業利益4億9千9百万円（前年同期比11.5%減）、経常利益5億1千3百万円（前年同期比20.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億4千3百万円（前年同期比18.8%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

・機器装置事業

機器装置事業につきましては、上記「Project Skye」による営業・サービス改革の効果もあり、ボイラー、ヒーター、業務用エコキュート等の熱源機器、空調機器では直暖機器、ヒートポンプ式外調機の売上が順調に推移し、環境機器も電気ヒーターを中心に順調に推移しましたが、前期大幅な増収であったサーモデバイス機器は反動減により減収となりました。

その結果、当事業の売上高は61億9千6百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、景観製品は特殊高欄（デザイン高欄）が低調に推移し、売上が減少しました。鋳造品は精密鋳造品が堅調に推移しましたが、特殊鋳造品は低調に推移し、売上が減少しました。

その結果、当事業の売上高は11億5千9百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、リニューアル工事及び設備工事が順調に推移し、売上が増加しました。

その結果、当事業の売上高は21億4千6百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億2千4百万円増加し、157億9千2百万円となりました。主な要因は、投資有価証券7億4千6百万円、有形固定資産3億1千2百万円、たな卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料）が3億1千万円、有価証券が2億円増加した一方、売上債権（受取手形及び売掛金、電子記録債権）が2億1千万円、現金及び預金が4億9千8百万円減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ2億9百万円減少し、108億1千7百万円となりました。主な要因は、その他の流動負債が2億6千2百万円、借入金（短期借入金、長期借入金）が2億1千2百万円減少した一方、繰延税金負債が2億7千4百万円増加したことによるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ11億3千3百万円増加し、49億7千4百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が3億7千8百万円、その他有価証券評価差額金が6億7千1百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成30年2月5日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,496	2,997
受取手形及び売掛金	3,622	3,251
電子記録債権	228	388
有価証券	—	200
商品及び製品	217	283
仕掛品	888	1,081
原材料	304	356
その他	41	122
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	8,794	8,678
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,611	1,611
その他(純額)	1,103	1,416
有形固定資産合計	2,715	3,028
無形固定資産	60	60
投資その他の資産		
投資有価証券	2,826	3,572
その他	497	479
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	3,296	4,024
固定資産合計	6,072	7,113
資産合計	14,867	15,792
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,691	2,846
短期借入金	3,520	3,737
未払法人税等	121	33
その他	1,161	899
流動負債合計	7,494	7,516
固定負債		
長期借入金	805	375
退職給付に係る負債	2,139	2,066
繰延税金負債	212	487
その他	374	371
固定負債合計	3,532	3,301
負債合計	11,027	10,817

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	1,028	1,406
自己株式	△147	△147
株主資本合計	3,747	4,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	575	1,247
為替換算調整勘定	74	78
退職給付に係る調整累計額	△556	△477
その他の包括利益累計額合計	93	848
純資産合計	3,840	4,974
負債純資産合計	14,867	15,792

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	9,894	9,502
売上原価	7,495	7,160
売上総利益	2,398	2,341
販売費及び一般管理費	1,834	1,842
営業利益	564	499
営業外収益		
受取利息	11	3
受取配当金	67	72
為替差益	45	-
その他	19	25
営業外収益合計	144	101
営業外費用		
支払利息	47	40
持分法による投資損失	6	13
その他	8	33
営業外費用合計	62	88
経常利益	646	513
税金等調整前四半期純利益	646	513
法人税、住民税及び事業税	100	70
法人税等合計	100	70
四半期純利益	545	443
親会社株主に帰属する四半期純利益	545	443

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	545	443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	429	671
退職給付に係る調整額	85	79
持分法適用会社に対する持分相当額	△71	4
その他の包括利益合計	443	755
四半期包括利益	989	1,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	989	1,198
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。